

出さない理由は聞き飽きた！ 満額回答に向けて各地区で職場集会を開催！



53名参加！

秋田支部 11月7日

組合員が面倒を見てくれて、仲間として繋がっていると感じた。一方、社友会は人として見ていないと感じる。
労働組合が無いと会社の暴走に歯止めがきかない！

組織は小さくなってしまっただが、当たり前の労働組合の活動が魅力的だ！
「働きがい、やりがい、賃金」が削られている！

「直近の業績動向を念頭に慎重に判断しなければならぬ」と言うが、コロナ禍で赤字に向けて頑張ってきたのに納得できない。
中距離で7割後半、近距離で9割、2018年と比べると8割後半まで戻っている。それがいまの足元の業績だ。この業績を理由に賃金を引き下げるのは、これ以上我慢できない！
声を出して勝ち取っていくことを未加入者に伝えていかなければならない。
樂觀視できないとは、どれだけ働かせて搾取することしか考えていないんだと改めて感じた。若い人が会社を辞めていくのは寂しい。魅力ある会社にしていこう！
今年の雨の対応も休労などで休みなく働いた。業務量に対して割に合わない。2018年度比にするのが腹立たしい！
低賃金だと頑張れない！満足できる賃金だと一生懸命頑張れる！会社も考えるべきだ。

第2回交渉報告を受けて、 弘前で即日の報告集会を開催！

弘前支部 11月8日



職場の努力で赤字化は達成した認識は一致しつつも、出せない理由ばかり並べることが変わっていない。第7波でも出控えは起こっていない！
おれらの賃金は削っても役員報酬は削っていない！
離職に対する問題意識が不一致。「賃金面は問題ない」「能力が発揮できないから」とは現場とは認識合っていない！
離職の現実には賃金が低く働きたいがないこと。現場実態に伴っていない！
社員をなめているが、職場も見られているのも現実。どれだけの組合員・社員が怒りをもっているのか。職場で話をしたいこう！
そもそも未加入者をはじめ若手は自分の賃金について理解しているのか？もっと関心を高めていこう！
先行きが透明になることはあるのか？社友会をうまく利用して、会社は意見を掴んでいるスタンス。現実とは違う！
コロナ禍で今回の赤字、それでも昨年と同じ評価しかないのか！
現場の努力を無駄にしないでほしい。
有利子負債は経営側の問題！
もっとモチベーションが上がる回答を！

若い社員の中でも赤字の会社しか知らない人もいます。もっと還元するべき。
第2回から第3回までの間で職場の動きは見られている！職場で実践を繰り返して霧囲気をつくっていきましょう！
他労組がすぐに妥結してしまふ。最後までたたかい抜こう！

**全機関の総力をあげて最後まで組合員と共にたたかい抜くことを確認！
現場の認識とずれている回答では納得できない！**